

Topics

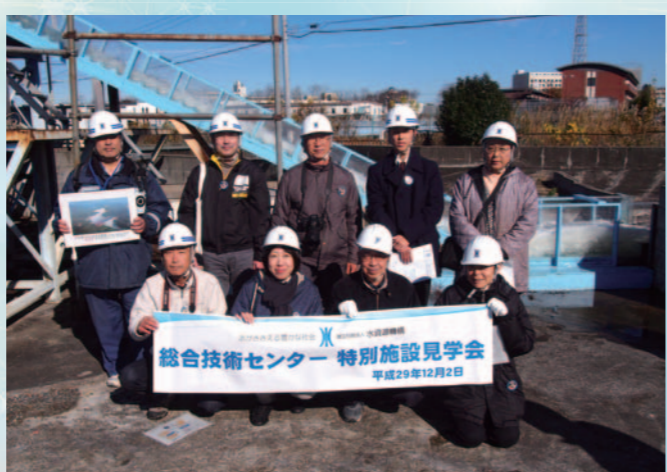
ようこそ、総合技術センターへ!

～広報誌読者モニター施設見学会を開催～

12月2日(土)、埼玉県さいたま市にある総合技術センターに、広報誌読者モニターの方々をお招きし、施設見学会&意見交換会を実施しました。

モニター対象施設見学会は昨年度から実施しており、3回目となる今回は、普段一般公開をしていない「総合技術センター」の見学を通して、水資源機構の“技術”を知っていただく機会となれば、という思いから開催しました。

見学会当日は、冬の寒い日ではありましたが、青空のもと、各地から9名のみなさまがお越しになり、センターの各グループ担当職員が各施設をご案内しました。



水理実験場

小石原川ダムの40分の1の水理模型で、流れる水の動きをチェック!

コンクリート試験棟

ダムごとに並べられた骨材を見比べる参加者。お気に入りを見つける方も。

フィルダム材料試験棟

コア材に触れた方から「粘土みたい!」との声。(その「粘土」で作った職員お手製の箸置きをお土産にプレゼント)

土質試験・地質試験棟

液状化で家や車が沈んでいく様子を模型を用いて、ミニデモンストレーション。

国際業務の紹介

海外支援などの国際業務も総合技術センターの仕事です!

意見交換会

職員を交えた意見交換会では、「広報誌をずっと発行してほしい!」「もっと職員の苦労や生の声を配信してほしい!」などのご意見をいただきました。

最後となりましたが、ご参加いただきました読者モニターの皆様、ありがとうございました。また、平素より水資源機構の事業に関心をお持ちいただき、広報誌へのアンケートに毎号ご協力いただいている38名の読者モニターの皆様にもこの場を借りて、心から感謝申し上げます。

今後とも、皆様のご意見を参考にさせていただきながら、広報課員一同、広報誌の取材&執筆を通して、水資源機構の“使命”を広くお伝えしていきたいと思っております!

水資源機構のホームページでは、広報誌へのアンケートを募集しております。ホームページに所定の様式がございますので、皆様の声をお聞かせ下さい。

ダムカレーの施工(昼食)

カレーの宅配を利用し、職員お手製の施工図(ランチョンマット)をもとに、各自でオリジナルダムカレーの施工に挑戦!

みなさまの“声”を大切に...

本広報誌は、広報課員をはじめとする機構職員が取材・撮影・執筆を行い作成しています。つたない部分も多々あるかと思いますが、毎号頭を悩ませながら、心を込めて作成しています。また毎年度、読者モニターを募集し、広報誌へのアンケートにご協力を頂いております。アンケートの結果は、本社各部室の職員で構成される「編集委員会」にて定期的に共有し、誌面作りの参考にさせていただいております。その中から一例をご紹介します。

表紙 「どのような様子の写真なのか 改善しました! わかりにくい」

表紙の写真は、職員から募集し広報課で選定しています。9・10月号より、目次欄に写真に関するコメントを追記するように改善しました。撮影者の思いなども聞き取りながら紹介できればと考えています!

誌面全般 「仕事内容をもっと 採用しました! 知りたい!」

一人の職員をクローズアップする「ささえる力」シリーズに加え、9月号より「水機構NAVI」をスタートさせました。レイアウトも工夫しながら、各部室と協働し、引き続きさまざまな職種を紹介していく予定です。ご期待ください!

誌面全般 「場所がわからずイメージが 改善しました! わきにくい」

所在地がイメージしやすいよう、記事の中になるべく位置図や図面を掲載するとともに、写真もできるだけ多く掲載するように心がけています。

誌面全般 「文字が小さく、読みにくい」 改善しました! 「言葉の意味や読み方がわからない」

文字をできる限り大きくするよう心がけています。また、レイアウトや色合いを工夫したり、分かりにくい言葉に注釈をつけるなど、課員でアドバイスしながら、より良い誌面となるよう工夫しています。

「ささえる力」シリーズ 「毎号楽しみ!職員の頑張りが毎回 伝わってくる。」

私達広報課員も取材のたびに、改めて「施設を最大限に活かす」業務に取り組んでいる現場職員の想いを痛感させられます。ご好評をいただいている「ささえる力」は、様々な職種を厳選した冊子版を発行し、各事務所や採用活動などで配布しています。

水源地域ドライブMAP(5・6月号) 「こういう記事を待っていました!」 「行ってみたいくなりました!」

担当職員の想いのつまった誌面です。好意的な反響が多く嬉しい限りです。水源地域に皆様が訪れていただくきっかけとなるよう、今後も水源地域にもご協力いただきながら、色々な地域をご紹介します。ご期待ください!